学校番号	１００１

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	現代文Ｂ（現代文Ｂ－２）	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	新　探求現代文Ｂ　（桐原書店）						
副教材等	新演習　現代文アチーブ２　四訂版（桐原書店） 常用漢字ダブルクリア四訂版（尚文出版） ビジュアルカラー国語便覧（大修館）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・様々な文章に触れ、的確に読み取り、自分自身の考えを正確に表現できるようにする。
・発表や文章での表現など、社会人としても必要な力を身につける。
・問題集の記述問題ができる力を身につける。
・自ら調べることで語彙を増やし、時事的な問題等にも関心を持ち、考えを述べられるようにする。

２　学習の到達目標

・近代以降の様々な文章を的確に理解し、自身の考えを適切に表現することができる。
・ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって国語力の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く	c:書く能力	d:読む能力	e: 知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴や決まり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。作品の文学史的位置づけ、作者に関わる知識を理解し、身に付けている。
評価方法	・行動の観察 ・記述の点検 ・発問に対する応答の態度	・行動の観察 ・指名音読 ・発問に対する応答の内容	・記述の確認及び分析 ・定期考査 ・ワークシート	・記述の確認及び分析 ・発問に対する応答の内容 ・定期考査 ・ワークシート	・行動の観察 ・記述の確認 ・発問に対する応答の内容 ・定期考査 ・小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
前期	評論	・評論文を読み、筆者の主張、構成を読み取る。 また、文の内容から自己の生きる世界をとらえなおし、考え、その内容を表現する。 教材: 「オブジェとイマージュ」 「言葉の〈意味〉と〈表徴〉」	○	○	○	○	○	a 語の意味を調べている。 b 自己にひきつけて考え、意見を発表できる。 c 本文の内容や自己の考えを文章にできる。 d 文章の構成を把握し、筆者の主張を読み取れる e 正しく音読できる。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・ワークシート提出 ・小テスト ・定期考査
	小説	・不条理な物語を精読し、描かれている事柄や人物が象徴しているものを理解する。 教材: 「檸檬」 「愛のサーカス」	○	○	○	○	○	a 語の意味を調べている。 b 自己にひきつけて捉え、考えを発表できる。 c 自分の意見を文章にできる。 d 登場人物の心情を性格に読み取れる。 e 正しく音読できる。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・ワークシート提出 ・小テスト ・定期考査
後期	評論	・長文の評論を読み、二項対立を基本とした論構成を理解する。 教材: 「市民社会化する家族」 「身体と出現」 「ポストモダンと排除社会」	○	○	○	○	○	a 語の意味を調べている。 b 自己にひきつけて考え、意見を発表できる。 c 本文を要約できる。 d 文章の構成を把握し、筆者の主張を読み取れる e 正しく音読できる。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・ワークシート提出 ・小テスト ・定期考査
	小説	・小説の読み方に習熟する。 ・擬古文を用いた近代小説を読み味わうことにより、小説の多様な表現形式に触れる。 ・作品の背景にある時代と文化の状況について理解を深める。 教材: 「舞姫」	○	○	○	○	○	a 語の意味を調べている。 作者について調べ、作品についてイメージを広げている。 b 自分の考えを表現できる c 考えを深め、自分の意見を的確に書く。 d 情景や会話の描写から、考察しながら読める。 e 作者の思想や作品について、理解を深めている。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・ワークシート提出 ・小テスト ・定期考査